

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

令和 元年 12月 26日

協議会名:鹿部町地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証運行調査</li> <li>・公共交通勉強会・地域意見交換会</li> <li>・「鹿部町地域公共交通網形成計画」(案)のとりまとめ</li> <li>・協議会開催</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しやすい地域の公共交通を把握するため、現在路線バスが運行されていないリゾート地区を含めた町内を循環する公共交通の実証調査を6月から7月まで有償で実施し、運行経路や利用実績及び乗降状況等を把握・検証し、町民の移動状況の把握等、新たな地域公共交通の方向性の基礎資料として整理した。</li> <li>・実証調査の結果を踏まえ、その検証結果や課題を地域住民等と共有し、地域公共交通の重要性を学ぶためグループワークを1回実施した。実施した結果、公共交通の課題を行政のみならず地域住民等が一体となって考えて行く気運醸成を図ることができた。</li> <li>・今後、町民の移動実態に即した交通モード、ルート及びダイヤを検討し、網形成計画(素案)を作成し、協議会の検討を経て、鹿部町地域公共交通網形成計画として最終的にとりまとめ令和2年3月頃を目途に「鹿部町地域公共交通網形成計画」としてとりまとめる予定。</li> </ul>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の地域内生活移動確保のため、地区の課題に応じた交通モードの導入を令和3年度の本格運行に向け、検討を進める。</li> <li>・令和3年度に役場が新庁舎として移転、交通結節点の機能も兼ね備えることから、新庁舎を中心とした公共交通網の構築を進める。</li> <li>・町民の町外移動を支援する交通形態を、既存交通も含めて検討を進める。</li> <li>・町民および観光客の公共交通の積極的な利用に資する利用促進策を打ち出し、実施時期等の検討を進める。</li> <li>・なお、令和3年度確保維持事業(地域内フィーダー系統)の活用を見込んでいる。</li> </ul>

# 鹿部町地域公共交通活性化協議会

令和元年3月25日設置



## 概要

鹿部町を取り巻く公共交通の状況は、バス利用の低迷や少子高齢化、人口減少の進行等、大きく変化している。今後も継続的に町民の生活交通の確保することを第一に、観光客需要の取り込みも見据えた公共交通網の構築が求められている。このため、町民をはじめとする地域内公共交通利用者のよりよい交通サービスの提供を行うことを目的に、町内移動・広域移動に係る生活交通の確保を行うこと、併せて広域交通と町内交通間の利便性向上策の実施による観光客需要の取り込みも視野に入れた、鹿部町の公共交通の方向性を示した「鹿部町地域公共交通網形成計画」を策定する。

### ○地域公共交通の現況

- ・JR函館本線(鹿部駅)
- ・函館バス(株)(町内1路線、地域間幹線3系統)

### ○地域公共交通の課題

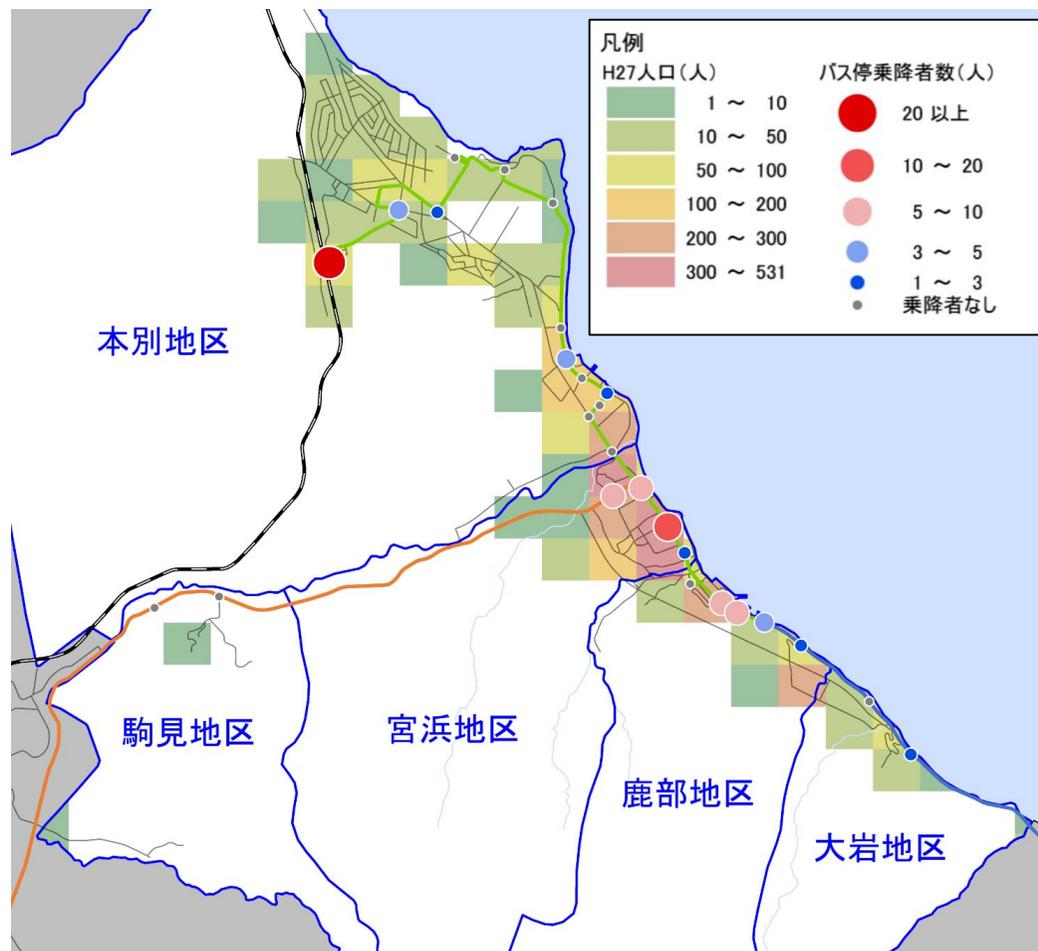
- ・特定地区における公共交通空白地域の存在
- ・高い自動車利用率による利用者数の低迷
- ・町内交通と地域外幹線との良好な接続

### ○調査の主な内容

- ・実証調査
- ・公共交通勉強会・地域意見交換会
- ・鹿部町地域公共交通網形成計画(案)のとりまとめ
- ・協議会開催

### ○地域公共交通活性化協議会開催状況

- 令和元年10月31日 第2回協議会を開催
- ・素案作成に向けた地域内公共交通の方向性
- 令和元年12月26日 第3回協議会を開催
- ・交通網形成計画骨子案



# 鹿部町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●事業の結果概要

- ・実証調査: 利用しやすい地域の公共交通を把握するため、現在路線バスが運行されていないリゾート地区を含めた町内を循環する公共交通の実証調査を6月から7月まで有償で実施し、運行経路や利用実績及び乗降状況等を把握・検証し、町民の移動状況の把握等、新たな地域公共交通の方向性の基礎資料として整理した。
- ・公共交通勉強会・地域意見交換会: 実証調査の結果を踏まえ、その検証結果や課題を地域住民等と共有し、地域公共交通の重要性を学ぶためグループワークを1回実施した。実施した結果、公共交通の課題を行政のみならず地域住民等が一体となって考えて行く気運醸成を図ることができた。
- ・今後、町民の移動実態に即した交通モード、ルート及びダイヤを検討し、網形成計画(素案)を作成し、協議会の検討を経て、鹿部町地域公共交通網形成計画として最終的にとりまとめ令和2年3月頃を目途に「鹿部町地域公共交通網形成計画」としてとりまとめる予定。

## ●事業実施の適切性

- ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。

## ●地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針

- ・町民の地域内生活移動確保のため、地区の課題に応じた交通モードの導入を令和3年度の本格運行に向け、検討を進める。
- ・令和3年度に役場が新庁舎として移転し、交通結節点の機能も兼ね備えることから、新庁舎を中心とした公共交通網の構築を進める。
- ・町民の町外移動を支援する交通形態を、既存交通も含めて検討を進める。
- ・町民および観光客の公共交通の積極的な利用に資する利用促進策を打ち出し、実施時期等の検討を進める。
- ・令和3年度確保維持事業(地域内フィーダー系統)の活用を見込んでいる。

## ●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄